

平成25年度

公益社団法人日本地すべり学会  
関東支部  
総会資料



Kanto branch

平成25年5月10日

東京大学武田先端知ホール

平成25年度

公益社団法人日本地すべり学会関東支部

総会次第

日時：平成25年5月10日（金）12:45-13:45

場所：東京大学武田先端知ホール（東京都）

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 議事
  - 3-1. 議案
    - 第1号議案 事業報告及び決算の承認に関する件
    - 第2号議案 役員交替の承認に関する件
    - 第3号議案 平成26年度第53回研究発表会の承認に関する件
  - 3-2. 報告
    - 平成25年度計画・予算案に関する報告
    - 平成25年度支部役員に関する報告
    - 支部事務局移転に関する報告
4. 閉会

## 第 1 号議案 事業報告及び決算の承認に関する件

### 1. 公益社団法人移行にともなう事務処理

平成 24 年 10 月 1 日、公益社団法人の設立にともなって、平成 24 年度総会で支部長に委任された次の事項を実施した。

1. 支部事業の事業報告、収支決算、監査を実施したこと
2. 公益社団法人の初年度の事業計画、収支予算を提出したこと
3. 関東支部運営規程について修正し、運営内規としたこと

### 2. 事業報告（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日） 旧法人

#### ① 総会（及び現地検討会）

期日：平成 24 年 4 月 20 日（金） 場所：東京大学武田先端知ホール

#### ② 運営委員会

- ・ 第 1 回 平成 24 年 4 月 13 日 日本工営会議室 出席者：16 名

#### ③ 幹事会

- ・ 第 1 回 平成 24 年 4 月 6 日 日本工営会議室 出席者：12 名
- ・ 第 2 回 第 1 回運営委員会と合同
- ・ 第 3 回 平成 24 年 5 月 18 日 日本工営会議室 出席者：11 名
- ・ 第 4 回 平成 24 年 7 月 13 日 日本工営会議室 出席者：10 名
- ・ 第 5 回 平成 24 年 9 月 7 日 日本工営会議室 出席者：6 名

#### ④ シンポジウム

- ・ 平成 24 年度関東支部シンポジウム

ー東日本大震災で発生した関東地方の地すべりについてー

期日：平成 24 年 4 月 20 日（金）

場所：東京大学武田先端知ホール（東京都）

講演：

「東日本大震災：北関東周辺地域における地すべり被害」

群馬大学大学院 教授 若井明彦

「平成 23 年 4 月 11 日福島県いわき市を震源とする震度 6 弱の内陸地震にともなう斜面変動」 帝京平成大学 准教授 佐藤剛

「東北地方太平洋沖地震により栃木県で発生した斜面災害の特徴」 国土防災技術株式会社 関東支社 環境保全部長 東康治

「東北地方太平洋沖地震により茨城県で発生した斜面災害の特徴」 日本工営株式会社 流域・防災事業部 副技師長 上野雄一

⑤現地検討会

- ・平成 24 年度現地検討会—長野県北部地震において新潟県・長野県に発生した土砂災害—  
期日：平成 24 年 5 月 31 日～6 月 1 日  
場所：新潟県十日町市・津南町、長野県栄村  
参加者：19 名

3. 事業報告（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日） 新法人

①運営委員会

- ・第 1 回 平成 24 年 12 月 14 日（金） 日本工営会議室 出席者：16 名

②幹事会

- ・第 1 回 第 1 回運営委員会と合同
- ・臨時 平成 25 年 2 月 14 日（金） 日本工営会議室 出席者 10 名
- ・第 2 回 平成 25 年 3 月 22 日（金） 日本工営会議室 出席者 9 名

③広報活動等

- ・ニューズレターNo. 11 発行
- ・関東支部 Web ページ更新

4. 決算報告

平成 24 年度決算（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日） 旧法人

	科目	金額	備考
収益	当期収益合計	410,209	①詳細は別表
	資金移動	290,000	本部口座→支部口座
	前期繰越額	1,019,834	
	計	1,720,043	
費用	当期費用合計	577,539	②詳細は別表
	未払金	0	
	未収金	0	
	次期繰越額	1,142,504	
	計	1,720,043	
	当期収支差	-167,330	①-②

平成 24 年度決算（平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日） 新法人

	科目	金額	備考
収益	当期収益合計	113	①詳細は別表
	資金移動	0	本部口座→支部口座
	前期繰越額	1,142,504	
	計	1,142,617	
費用	当期費用合計	15,380	②詳細は別表
	未払金	0	
	未収金	0	
	次期繰越額	1,127,237	
	計	1,142,617	
	当期収支差	-15,267	①-②

別表1 平成24年度決算の収益・費用（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

科目			収益		当初予算
			金額	備考	
協賛・寄付	寄付金	寄付金			
	協賛金	協賛金			
	計		0		
事業収益	印刷物頒布収益	会誌頒布			
		購読契約			
		別刷り等			
		CD-ROM			
		その他資料	3,000	資料販売	
		計	3,000		
	シンポジウム収益	参加費	156,000	2000円×78名	400,000
		意見交換会費	140,000	5000円×28名	400,000
		計	296,000		800,000
	現地検討会収益	参加費	111,000	6000円×18名+3000円×1名	100,000
		意見交換会費			
		計	111,000		100,000
	技術講習会収益	参加費			
意見交換会費					
	計	0			
	計	410,000		900,000	
雑収益			0		
受取利息			209	群馬銀行利息	
当期収益合計			410,209		900,000

科目			費用		当初予算	
			金額	備考		
管理費	会議費	支部総会費		シンポジウム費と併せて計上		
		幹事会費			30,000	
		委員会費			30,000	
		計	0		60,000	
	役員選挙費	印刷費				
		郵送費				
		計	0			
	通信運搬費	通信運搬費[管]				80,000
		振替手数料	5,565	銀行振込手数料		20,000
		計	5,565			100,000
	旅費交通費	旅費交通費[管]	0			
	事務費	事務用品費				
		OA費				
HP維持管理					70,000	
印刷費						
	計	0			70,000	
公租公課	法人税等					
	消費税					
	計	0				
	管理費計		5,565		230,000	
事業費	シンポジウム・技術講習会費	印刷製本費[シ]	189,404	DSI・総会資料印刷費49,754円 創文印刷・シンポジウム概要集(150部)139,650円	280,000	
		会議費Ⅰ[シ]	80,000	東京大学・竹田先端知ホール使用料	170,000	
		会議費Ⅱ[シ]	147,600	東京大学・山上会館(ホール)利用料9,000円、会食費138,600円	280,000	
		支払報酬[シ]			10,000	
		旅費交通費[シ]	25,000	講師交通費(10,000円×1名、5,000円×3名)	100,000	
		通信運搬費[シ]	14,560	郵送費(182通)		
		事務費[シ]	5,544	封筒代等		
		雑費[シ]				
		計	462,108		840,000	
	現地検討会費	印刷製本費[現]				20,000
		会議費Ⅰ[現]				
		会議費Ⅱ[現]				
		支払報酬[現]				10,000
		旅費交通費[現]	94,500	森宮交通・小型バス代(1台)	80,000	
		通信運搬費[現]	5,470	宅急便代3,320円、郵送料2,150円		
		事務費	4,158	封筒代等		
	雑費	5,738	三井住友海上火災・旅行傷害保険代	10,000		
	計	109,866		120,000		
図書印刷費	機関紙印刷費					
	CD-ROM編集費					
	計	0				
旅費交通費	旅費交通費[事]	0				
消耗品費	消耗品費	0				
	事業費計		571,974		960,000	
当期費用合計			577,539		1,190,000	

別表2 平成24年度決算の収益・費用（平成24年10月1日～平成25年3月31日）

科目			収益			
			金額	備考	当初予算	
協賛・寄付	寄付金	寄付金				
	協賛金	協賛金				
	計		0			
事業収益	印刷物頒布収益	会誌頒布				
		購読契約				
		別刷り等				
		CD-ROM				
		その他資料				
		計		0		
	シンポジウム収益	参加費				
		意見交換会費				
		計		0		0
	現地検討会収益	参加費				
		意見交換会費				
		計		0		0
	技術講習会収益	参加費				
意見交換会費						
計			0		0	
	計		0		0	
雑収益			0			
受取利息			113	群馬銀行利息		
当期収益合計			113		0	

科目			費用			
			金額	備考	当初予算	
管理費	会議費	支部総会費				
		幹事会費			10,000	
		委員会費				
		計		0		10,000
	役員選挙費	印刷費				
		郵送費				
		計		0		
	通信運搬費	通信運搬費[管]				30,000
		振替手数料				3,000
		計		0		33,000
	旅費交通費	旅費交通費[管]		0		
	事務費	事務用品費	15,380		印鑑作成費用等	15,000
		OA費				4,870
HP維持管理					60,000	
印刷費						
計		15,380			79,870	
公租公課	法人税等					
	消費税					
	計		0			
	管理費計		15,380		122,870	
事業費	シンポジウム・技術講習会費	印刷製本費[シ]				
		会議費Ⅰ[シ]				
		会議費Ⅱ[シ]				
		支払報酬[シ]				
		旅費交通費[シ]				
		通信運搬費[シ]				
		事務費[シ]				
		雑費[シ]				
		計		0		0
	現地検討会費	印刷製本費[現]				
		会議費Ⅰ[現]				
		会議費Ⅱ[現]				
		支払報酬[現]				
旅費交通費[現]						
通信運搬費[現]						
事務費						
雑費						
	計		0		0	
図書印刷費	機関紙印刷費					
	CD-ROM編集費					
	計		0			
旅費交通費	旅費交通費[事]		0			
消耗品費	消耗品費		0			
	事業費計		0		0	
当期費用合計			15,380		122,870	

## 5. 監査報告

平成 25 年 4 月 3 日に、支部監事により平成 24 年度の支部事業及び会計について監査が行われた（別紙 1,2 参照）。

別紙1 平成24年度（平成24年4月1日～平成24年9月30日）監査報告書（写し）

## 監査報告書（関東支部）

平成25年4月3日

公益社団法人 日本地すべり学会  
会 長 檜垣 大助 殿

監事 松本 嘉久男 印

監事 何井 浩司 印

平成24年4月1日から平成24年9月30日までの会計の監査を行い、次の通り報告する。

### 1 監査の方法の概要

会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。

### 2 監査意見

決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。

以上



## 監査報告書（関東支部）

平成25年4月3日

公益社団法人 日本地すべり学会  
会 長 檜垣 大助 殿

監事 松本 豊久男 印

監事 何井 浩司 印

平成24年10月1日から平成25年3月31日までの会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて決算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、会議等への出席、又は支部長から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

### 2 監査意見

- (1) 決算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の経理の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 支部の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

## 第 2 号議案 役員交替の承認に関する件

### 1. 退任する支部役員

監事 松本喜久男（本人からの届出による）

### 2. 後任の候補者

監事候補者 井田由夫（運営委員会による推薦）

## 第 3 号議案 平成 26 年度第 53 回研究発表会の承認に関する件

平成 26 年度第 53 回研究発表会を茨城県つくば市で開催するものとする(担当:関東支部)。

## 平成 25 年度計画・予算案に関する報告

### 1. 平成 25 年度事業計画

平成 25 年度事業計画は次のとおりである。

#### ①支部総会

- ・平成 25 年 5 月 10 日 東京大学武田先端知ホール（東京都）

#### ②シンポジウム・意見交換会

- ・平成 25 年 5 月 10 日 東京大学武田先端知ホール（東京都）
- ・支部総会と同時開催、終了後、意見交換会（東京大学山上会館）を実施

#### ③現地検討会

- ・平成 25 年 8～11 月 2 回程度 茨城県ほか

#### ④運営委員会・幹事会

- ・第 2 回運営委員会・第 3 回幹事会（平成 24 年度） 平成 25 年 4 月
- ・第 1 回幹事会 平成 25 年 5 月
- ・第 2 回幹事会 平成 25 年 7 月
- ・第 3 回幹事会 平成 25 年 9 月
- ・第 1 回運営委員会・第 4 回幹事会 平成 25 年 12 月
- ・第 5 回幹事会 平成 26 年 3 月

#### ⑤ニューズレター発行

- ・年 2 回程度発行、支部 Web 掲載

#### ⑥その他

- ・第 53 回研究発表会（平成 26 年度）のための実行委員会立ち上げ

### 2. 平成 25 年度予算案

平成 25 年度予算案は次のとおりである。

平成 25 年度予算(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

科目	金額	備考
収益	当期収益	470,000 ①詳細は別表
	資金移動	200,000 本部口座→支部口座
	前期繰越額	1,127,237
	計	1,797,237
費用	当期費用	760,000 ②詳細は別表
	未払金	0
	未収金	0
	次期繰越額	1,037,237
	計	1,797,237

別表3 平成25年度予算の収益・費用(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

		収益(予算)			
科目		当初予算	内訳		
協賛・寄付	寄付金	寄付金			
	協賛金	協賛金			
	計				
事業収入	印刷物頒布収益	会誌頒布			
		購読契約			
		別刷り等			
		CD-ROM			
		その他資料			
		計			
	シンポジウム収益	参加費	160,000	参加費2,000円×80名	
		意見交換会費	150,000	参加費5,000円×30名	
		計	310,000		
	現地検討会収益	参加費	160,000	参加費4,000円×40名	
意見交換会費					
	計	160,000			
技術講習会収益	参加費				
	意見交換会費				
	計				
	計	470,000			
雑収益					
受取利息					
当期収益合計		470,000			

		費用(予算)		
科目		当初予算	内訳	
管理費	会議費	支部総会費	130,000	印刷費50000円、会場費80000円
		幹事会費	24,000	コピー代400枚×10円×6回
		委員会費		
		計	154,000	
	役員選挙費	印刷費		
		郵送費		
		計		
	通信運搬費	通信運搬費[管]	35,000	郵送料
		振替手数料	9,000	銀行振込手数料
		計	44,000	
	旅費交通費	旅費交通費[管]		
		事務用品費		
	事務費	OA費		
HP維持管理				
印刷費				
計		0		
公租公課	法人税等			
	消費税			
	計			
	管理費計	198,000		
事業費	シンポジウム・技術講習会費	印刷製本費[シ]	150,000	印刷費1,000円×150部
		会議費Ⅰ[シ]		
		会議費Ⅱ[シ]	150,000	意見交換会費用
		支払報酬[シ]		
		旅費交通費[シ]	20,000	講師交通費
		通信運搬費[シ]		
		事務費[シ]		
		計	320,000	
	現地検討会費	印刷製本費[現]	20,000	資料作成費500円×40部
		会議費Ⅰ[現]		
		会議費Ⅱ[現]		
		支払報酬[現]		
		旅費交通費[現]	200,000	バス代100,000円×2回
		通信運搬費[現]	9,200	郵送料80円×40人、宅急便代3,000円×2回
		事務費	800	コピー代等
	雑費	12,000	旅行傷害保険料300円×40人	
		計	242,000	
図書印刷費	機関紙印刷費			
	CD-ROM編集費			
	計			
旅費交通費	旅費交通費[事]			
消耗品費	消耗品費			
	事業費計	562,000		
当期費用合計		760,000		

## 平成 25 年度支部役員に関する報告

平成 25 年度の支部役員は次表のとおりである。なお、監事の新任は、選任された場合を想定している。

### 関東支部平成 25 年度支部役員名簿

区分	氏名	所属	運営委員会	幹事会	備考
支部長	落合博貴	独立行政法人 森林総合研究所 企画部	○	○	
副支部長	1 若井明彦	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科	○		
	2 山田正雄	情報防災技術株式会社	○		
監事	向井啓司	一般財団法人 砂防・地すべり技術センター 斜面保全部	○		
	井田由夫	群馬県 環境森林部 森林保全課	○		新任
運営委員	天野一男	国立大学法人 茨城大学 理学部 地球生命環境学科	○		
	後藤 聡	国立大学法人 山梨大学 大学院 医学工学総合研究部	○		
	鈴木輝一	国立大学法人 埼玉大学 大学院 理工学研究科	○		
	蔡 飛	国立大学法人 群馬大学 大学院 工学研究科	○		
	西 真佐人	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター	○		新任
	井口英道	林野庁 関東森林管理局 治山課	○		
	小山内信智	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ	○		
	中村 達	群馬県 県土整備部 砂防課	○		
	小内 薫	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課	○		
	小池 厚	山梨県 県土整備部 砂防課	○		新任
	稲垣 裕	日本工営株式会社 流域・防災事業部 防災部	○		
	小野田敏	アジア航測株式会社 社会基盤システム開発センター	○		
	小林 豊	日本サーベイ株式会社	○		
本間宏樹	応用地質株式会社 工務本部	○			
山崎 勉	国土防災技術株式会社 技術本部	○			
幹事長	櫻井正明	株式会社山地防災研究所	○	○	
副幹事長	藤原民章	日本工営株式会社 流域・防災事業部 防災部	○	○	
幹事	広報3 佐藤 剛	帝京平成大学 現代ライフ学部 経営マネジメント学科		○	
	企画1 三輪賢志	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ		○	
	企画1 井上敬資	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所		○	
	企画3 酒井直樹	独立行政法人 防災科学研究所 観測・予測研究領域 水・土砂防災研究ユニット		○	
	広報3 石田博文	群馬県 環境森林部 森林保全課		○	新任
	広報3 小田郁夫	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 砂防海岸課		○	
	広報3 櫻田 学	山梨県 県土整備部 砂防課		○	新任
	総務1 浦 元啓	日本工営株式会社 交通運輸事業部 インフラマネジメント部		○	
	広報1 小野田敏	アジア航測株式会社 社会基盤システム開発センター		○	
	広報1 菅野孝美	川崎地質株式会社 事業本部		○	
	会計 小林 豊	日本サーベイ株式会社		○	
	広報2 今野幸喜	国土防災技術株式会社 技術本部		○	
	企画2 木村勝美	株式会社ダイヤコンサルタント 砂防・防災事業部		○	
	総務2 平木慎一	株式会社日さく 東日本支社 調査部		○	
	総務2 本間宏樹	応用地質株式会社 工務本部		○	
	総務1 滝口 潤	明治コンサルタント株式会社 防災技術センター		○	
	企画2 林 一成	奥山ボーリング株式会社 技術開発室 東京事務所		○	

総務 1：幹事会・運営委員会運営、総務 2：総会等運営、会計：会計処理、広報 1：会員向広報活動（ニューズレター発行・学会誌対応）、広報 2：Web 管理、広報 3：対外広報・関係機関調整、企画 1：シンポジウム、企画 2：現地検討会・講習会、企画 3：全国大会対応

## 支部事務局移転に関する報告

平成 25 年度より、関東支部事務局を下記に移転する。

〒105 -0004 東京都港区新橋 5-26 -8 新橋加藤ビル

公益社団法人日本地すべり学会事務局内

TEL : 03 -3432 -1878 FAX : 03 -5408 -5250

(TEL/FAX : 学会事務局と共用)

## 公益社団法人日本地すべり学会 関東支部運営内規

### 第1章 総則

(目的)

第1条 この内規は、公益社団法人日本地すべり学会関東支部の運営を円滑に進めることを目的として定める。

2. 関東支部の運営は、公益社団法人日本地すべり学会定款、公益社団法人日本地すべり学会規則(以下「学会規則」という)、支部運営細則、土砂災害緊急調査細則、研究発表会実施細則及びこの運営内規に基づいて実施する。

### 第2章 支部役員

(支部役員)

第2条 関東支部に、学会規則の定める支部長、副支部長、支部監事のほか、運営委員、幹事長、副幹事長、幹事を置く(以下「役員」という)。

2. 役員の設定は下記のとおりとする。

支部長	1名
副支部長	1～2名
支部監事	2名
運営委員	5～20名
幹事長	1名
副幹事長	1～2名
幹事	5～20名

3. 副支部長を2名置く場合は、代行順位を付けるものとする。第1順位の副支部長は、支部長に事故あるときにその職務を代行する。

(職務・報酬)

第3条 運営委員は、支部の運営を協議する。

2. 幹事は支部の運営に関する実務を行い、幹事長はこれを総括する。副幹事長は幹事長を補佐する。

3. 役員は、無給とする。

(選任)

第4条 支部長、副支部長、支部監事は、運営委員会が支部に所属する正会員のうちから推薦し、支部総会において選任する。

2. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事は、支部に所属する正会員のうちから支部長が委嘱する。

(任期)

第5条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2. 支部長、副支部長、監事の任期の始期は、総会において選任された時とし、次期役員が総会において選任された時までとする。

3. 運営委員、幹事長、副幹事長、幹事の任期の始期は、支部長が委嘱した時とし、次期役員が委嘱される時までとする。

4. 役員が欠員となったときには、役員を選任することができるが、任期の終期は、欠けた役員の任期の終期と同じとする。

(解任)

第6条 役員が、次のいずれかに該当するに至ったときには、総会の決議によって解任することができる。

(1) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(2) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき

### 第3章 支部総会

(構成・議長)

第7条 支部総会は、支部に所属する正会員をもって構成する。

2. 支部総会の議長は、支部総会において、支部に所属する正会員(役員を除く)の中から選出する。

(決議事項)

第8条 支部総会は、支部に関する次の事項を決議する。

(1) 運営内規の変更、廃止

(2) 事業報告及び決算

(3) 会計および業務執行に関する支部監事の報告

(4) 支部長、副支部長、支部監事の選任又は解任

(5) 幹事長、副幹事長、運営委員、幹事の解任

(6) その他、支部総会で審議することが決議された事項

(定足数・議決)

第9条 総会は、支部に所属する正会員の1/5以上の出席がなければ開催することができない。

2. 総会の議事は、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。

3. 総会に出席できない正会員が、書面をもってあらかじめ意思を表示した場合は、総会の定足数及び議決数に算入する。

4. 支部総会の議事については、議事録を作成しなければならない。

5. 支部長は、支部監事から、その事由を付した文書により支部総会の開催を請求された場合は、速やかに支部総会の招集をおこなわなければならない。

## 第4章 運営委員会

(構成・招集・議長)

第10条 運営委員会は、支部長、副支部長、支部監事、運営委員のほか、幹事長、副幹事長をもって構成する。

2.運営委員会の会議は、支部長が招集する。また、会議の議長は、支部長または副支部長がこれにあたる。

(決議事項)

第11条 運営委員会は、支部に関する次の事項を決議する。

- (1) 支部総会に付議すべき事項
- (2) 支部総会の決議事項の執行に関する事項
- (3) 事業計画及び予算
- (4) 支部長、副支部長、支部監事の推薦
- (5) その他運営に関する事項

(議決)

第12条 運営委員会の議事は、決議について特別の利害関係を有する者を除く出席した運営委員会の構成員の過半数をもって決する。

2.運営委員会の議事については、議事録を作成しなければならない。

3.運営委員会は、支部運営細則第6条第3項および第4項に規定する会議を兼ねるものとする。

## 第5章 幹事会

(構成)

第13条 幹事会は、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2.支部運営を円滑に行うため、幹事長の下に総務、会計、広報、企画の担当を置く。

(役割)

第14条 幹事会は、支部長の指揮を受けて、次の事項を実施する。

- (1) 総会、運営委員会の決議事項に関する事項
- (2) 支部長の指示した事項
- (3) その他運営に関する事項

(会議)

第15条 会議は、幹事長が招集し、必要に応じて、支部長または副支部長の参加を求めることができる。また、支部監事は、必要に応じて、会議を傍聴することができる。

2. 会議の議長は、幹事長または副幹事長がこれにあたる。

3. 幹事長は、会議の内容について、支部長に報告しなければならない。

(事務局)

第16条 幹事会の事務を効率的に処理するために、事務局を設置することができる。

2.事務局の設置及び運営に関する事項については、支部長が定める。

## 第6章 土砂災害緊急対応委員会

(構成)

第17条 土砂災害緊急調査細則に定める土砂災害緊急対応委員会は、支部長、幹事長、副幹事長、幹事をもって構成する。

2.副委員長は幹事長とし、支部長が兼務する委員長を補佐する。

## 第7章 研究発表会実行委員会

(設置)

第18条 支部長は、研究発表会実施細則第4条に定められた研究発表会開催の要請をうけ、実施を委任された場合は、研究発表会実行委員会を設置する。

2.研究発表会実行委員会の設置のための準備、設置されるまでの間の対応は、幹事会が行うものとする。

## 第8章 文書管理

(文書番号)

第19条 支部の運営上発信が必要な文書で、支部の公印を押捺した文書は、文書番号を付すものとする。

(文書の保管)

第20条 文書番号を付した文書は、発信した文書の控えを事務局が保管する。

2.文書番号を付した文書の保管期間は、原則として発信後2年間とするが、必要な場合は保管期間を延長することができる。

## 第9章 会計処理

(金銭の出納)

第21条 支部における金銭の出納および保管は、会計担当の幹事が行うものとする。

2.支部が管理する預金の出納に使用する印鑑は、支部長の職名を刻した印とし、会計担当の幹事が保管し押印する。

(監査)

第22条 支部監事は、決算時および必要と認められる場合は、支部の会計について監査を行い、文書により支部総会に報告しなければならない。

## 付 則

1. 本運営内規は、平成24年10月1日から施行する。



## 支部会員の皆さまへのお知らせ

関東支部からの行事等の連絡は、①学会メーリングリスト、②関東支部 Web ページを通じて行います。

学会メーリングリストにぜひ登録してください。

### ●学会メーリングリスト

学会メーリングリスト（メール配信サービス）への登録等は、学会 Web ページを参照してください。

学会 Web ページ→メール配信サービス：

<http://www.landslide-soc.org/maillinglist/index.html>

### ●関東支部 Web ページ

学会 Web ページから、「関東支部」をクリックして入ってください。

学会 Web ページ：<http://www.landslide-soc.org/>

## 会場地図（東京大学本郷キャンパス）

### ■武田先端知ホール（総会及びシンポジウム）

東京都文京区弥生 2-11-16 東京大学工学部内 TEL 03-5841-1163

地下鉄南北線「東大前」駅下車 徒歩 8分、千代田線「根津」駅下車 徒歩 5分

### ■山上会館（意見交換会）

